



北海道

オホーツク^{cool}ール

第7次斜里町総合計画策定委員会

～オホーツクの現状と課題、振興局の取組について～

令和5年3月2日

北海道オホーツク総合振興局

局長 中島 和彦

中島 和彦

Nakashima Kazuhiko



出身

岩手県

現職

北海道オホーツク総合振興局長

入庁

1988年4月

職歴

農業関係業務を中心に、
これまで農政部次長や農政課長、
6次産業担当課長を務める。
2022年4月から現職。

オホーツク管内の概要

オホーツク総合振興局

- 北海道の北東部に位置
- 総面積は10,691km²
全道面積の12.8%を占める

- オホーツク海と280kmの
海岸線で接する

- 周囲を山に囲まれ、海岸には
湖沼も多く変化に富んだ地形

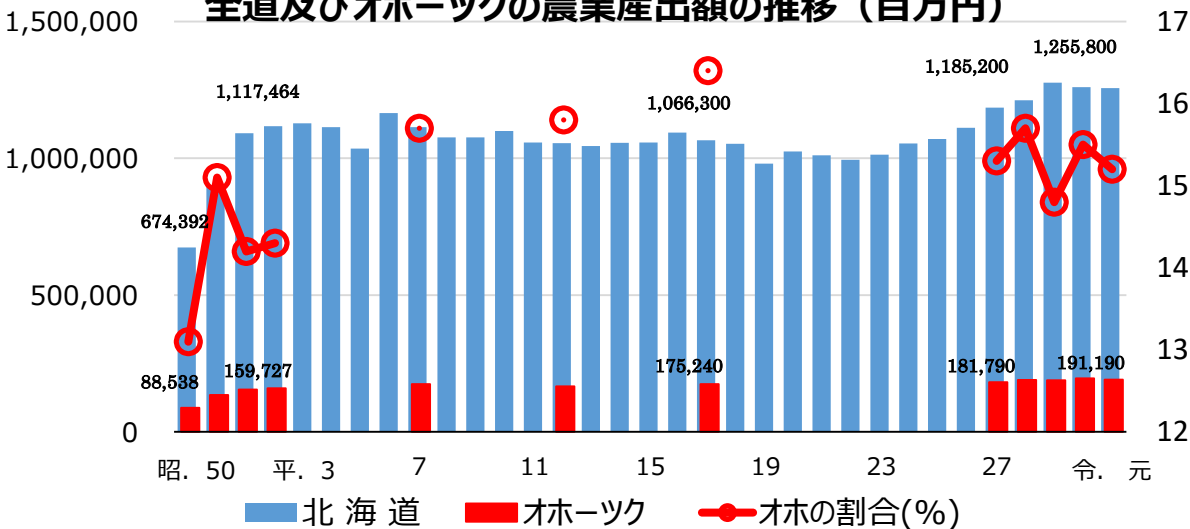
- 人口は269,388人〔R4.1.1時点〕
全道人口の5.2%を占める
(住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査)

- 気候は冬期間の寒さは厳しい
ものの、年平均降水量は
800ミリ前後と少なく、
北見市など一部地域は
日照時間にも恵まれている



オホーツクの強み～農業

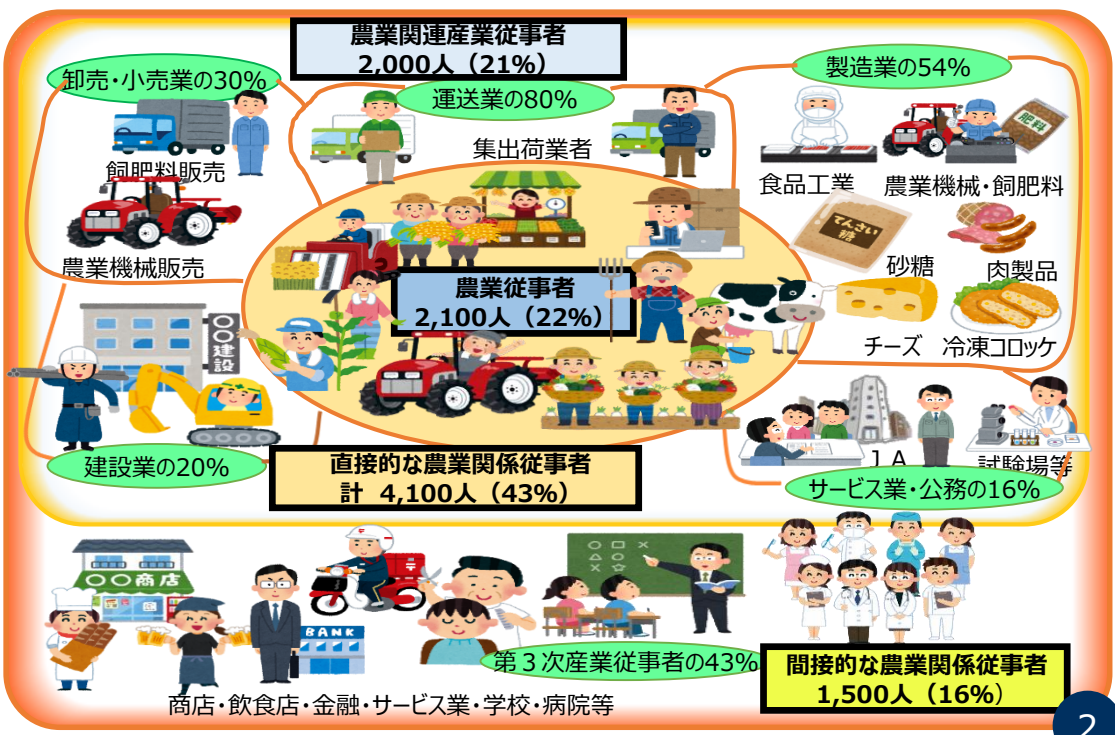
全道及びオホーツクの農業産出額の推移（百万円）



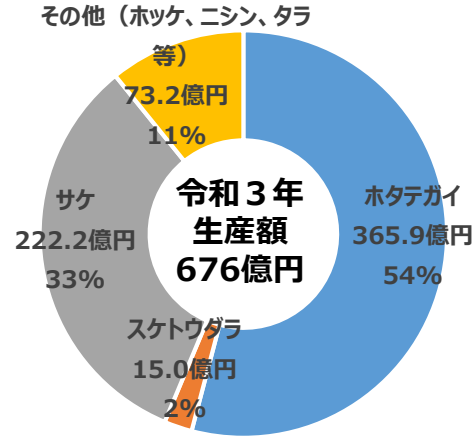
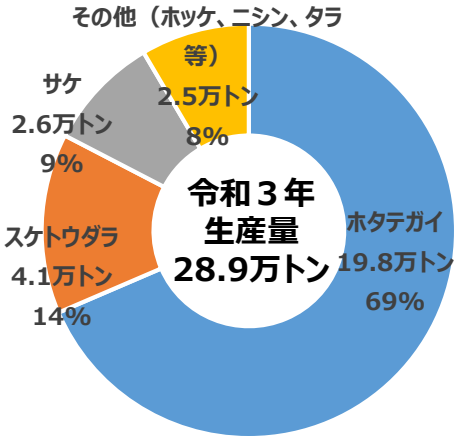
○我が国最大の食料生産地域である北海道（産出額1兆2千億円、全国の13%）において、オホーツクは、全道の15%強の産出額を誇る一大農業生産地域



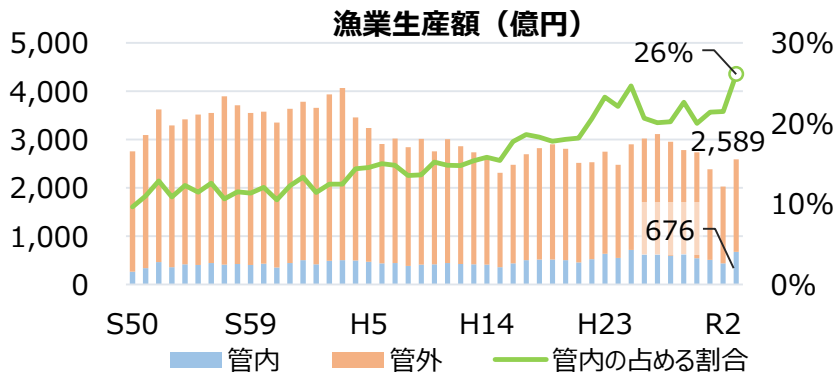
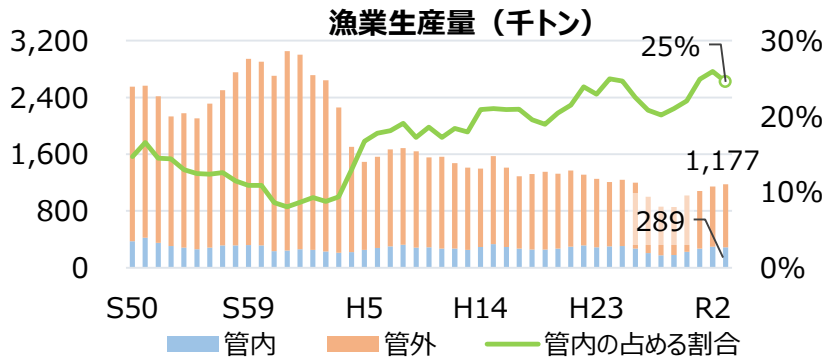
○農業生産によって、その生産物を加工する食品工場のほか運送や小売業などの関連事業者、飲食店と間接的な関係従事者を含めると町の6割は、農業と関連する仕事に従事していると見込まれる。農業は、多くの産業と結びつき管内の地域経済・社会を支えている



オホーツクの強み～漁業

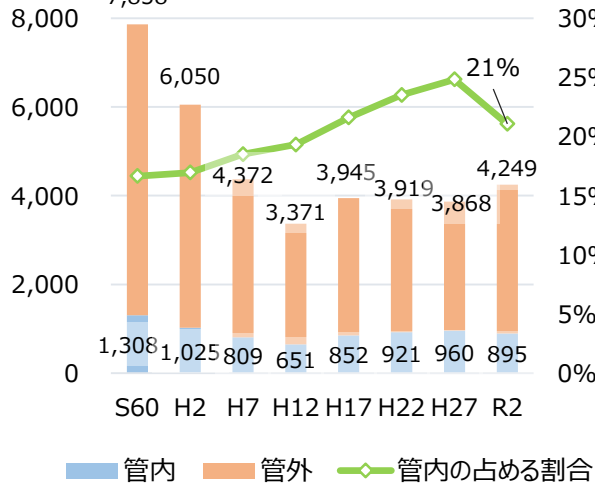


- 管内の水揚を見ると、生産額はホタテガイとサケ定置で全体の9割弱を占め、つくり育てる漁業の割合が非常に高いことが大きな特徴
- 特に、ホタテは、品質が国際的に高い評価を得ており、中国やE Uなどへ輸出されるなど、日本を代表する輸出水産物の一つ
- 管内は、沿岸海域を漁場とする「ほたてがい桁網漁業」や「さけ定置網漁業」を中心に営まれ、水揚量は全道のおよそ1/4を占め、令和3年度の生産額はホタテガイや秋サケが豊漁で単価も良好だったことから、過去最高を記録し、数量金額ともに全道一の水揚

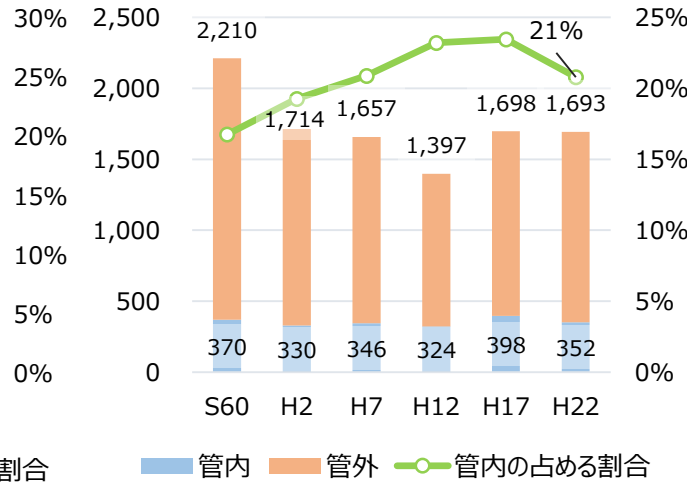


オホーツクの強み～林業

丸太生産量 (千m³)



木材・木製品出荷額 (億円)



- 管内の森林面積は769haで全道の14%
- 戦後植栽の人工林が利用期を迎えていることや機械化の進捗により、丸太の供給量や木材・木製品の出荷額は増加傾向。木材・木製品の出荷額は、352億円(全道の2割)と全道一



【CLTの生産】



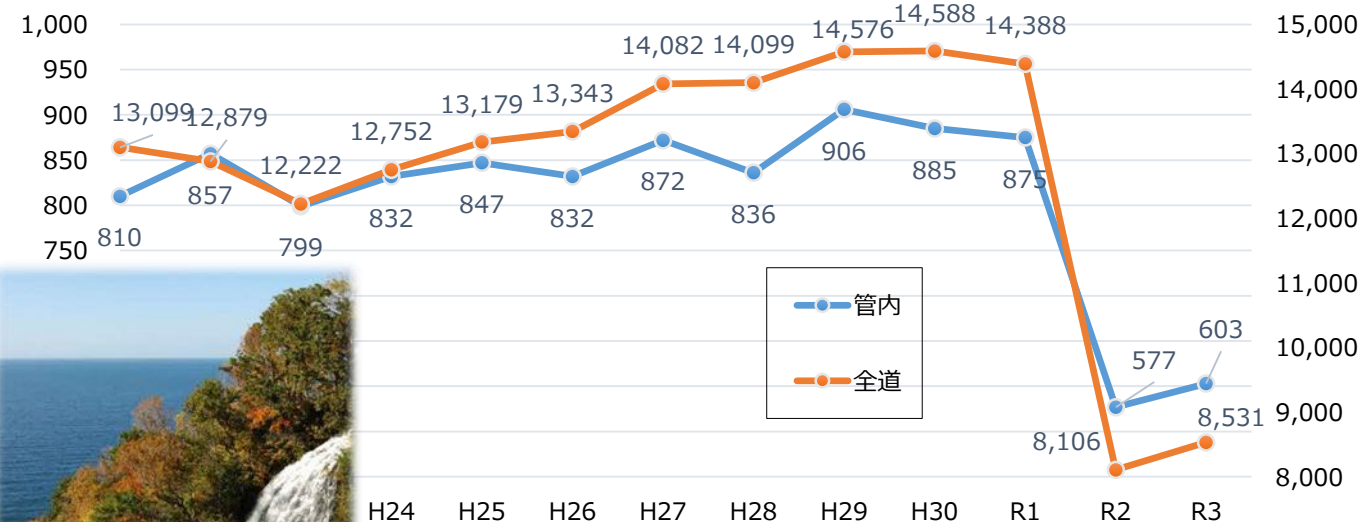
オホーツクウッドピア (北見市) は
道内唯一の生産施設！！



- 管内は、割り箸や経木(柁)など、古くから暮らしに身近な木製品を製造している全国でも数少ない地域
- 管内には道内唯一のCLT生産施設をはじめ、多くの木材加工施設があり、安定供給に向けた取組を推進

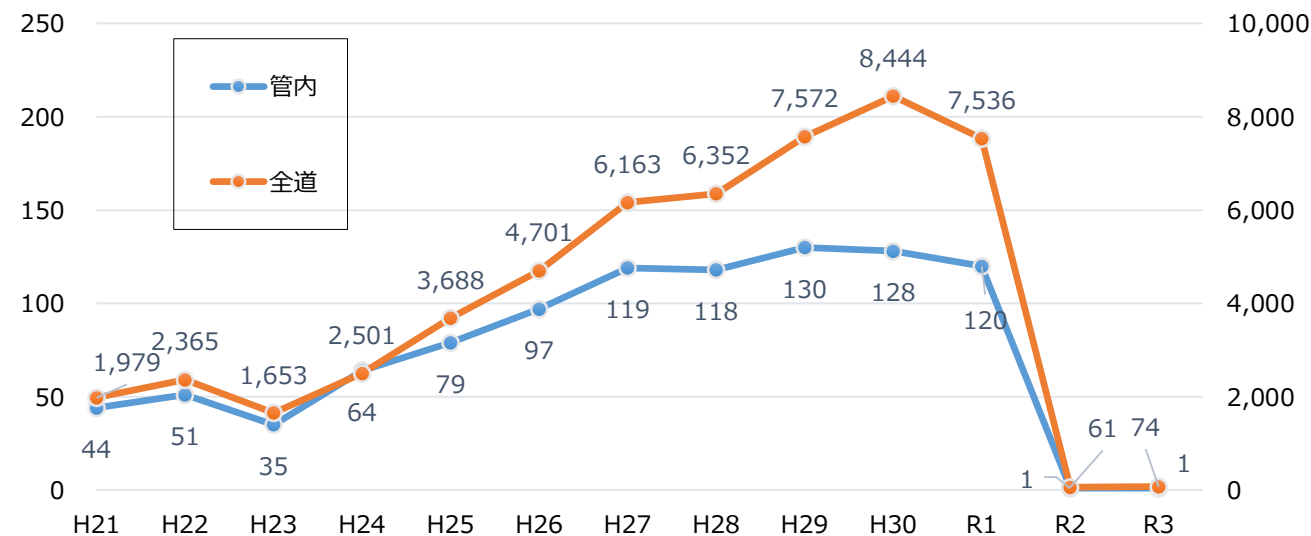
オホーツクの強み～観光

観光入込客数（延べ人数：万人）



- 管内は、世界自然遺産知床をはじめ多くの観光資源に恵まれ、夏のトップシーズンはもとより、流氷が来る冬にも多くの観光客が来訪
- 入込客数は、コロナウイルス感染症の影響により、甚大な影響を受けたが、コロナ前は年間1千万人近くの観光客が来訪

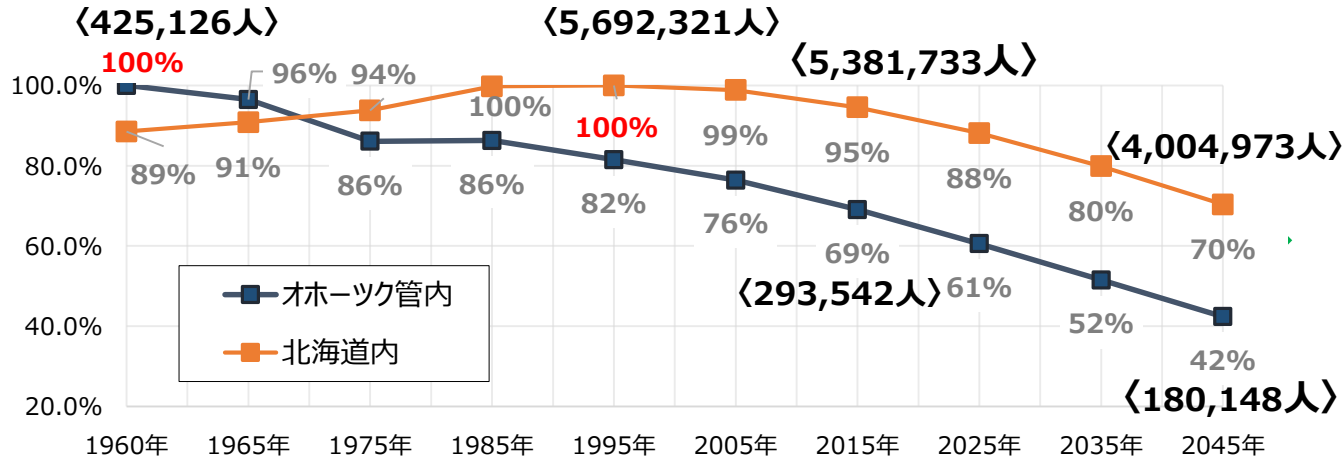
外国人宿泊客数（延べ人数：千人）



- 訪日外国人もコロナ前までは10万人を超える来訪があり、主に台湾や中国などアジア圏からが多く、特に冬観光が高評価。また、観光消費単価も道内客の10倍以上とのデータも有る

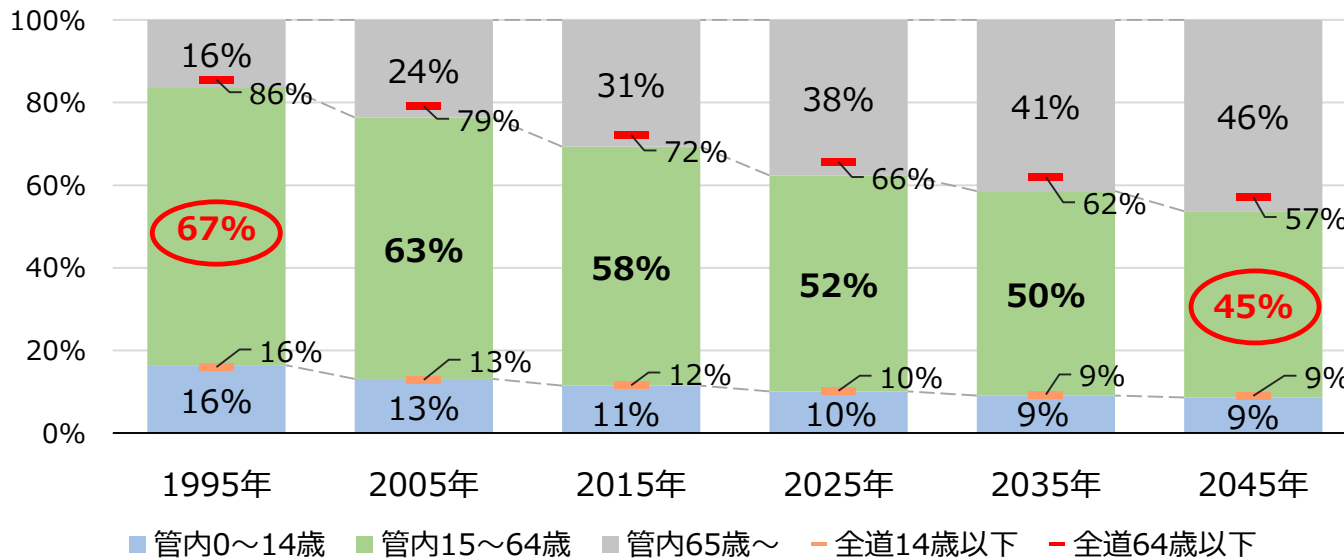
地域が抱える課題①：人口減少

管内・全道の人口推移



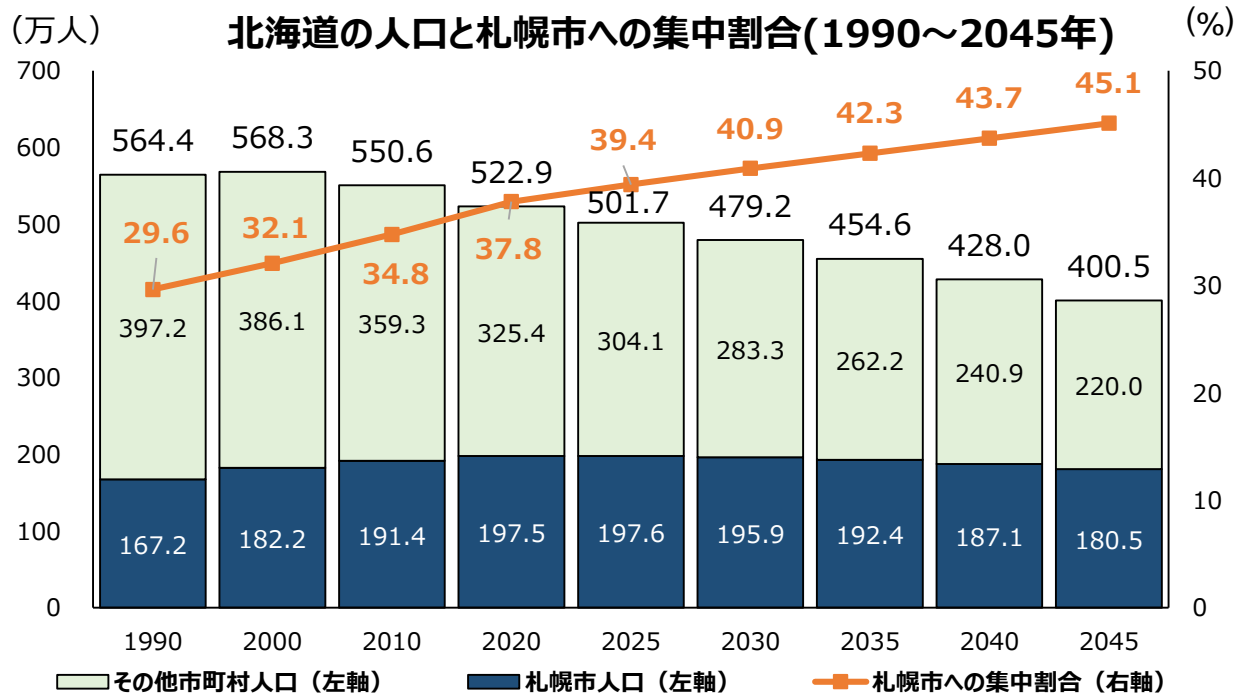
- 本道は、人口減少が国内でも加速しており、中でも管内は減少が特に進んでいる地域の一つ
- 道内では1995年をピークに人口減少が進む一方、管内はさらに早く1960年以降から減少が続き、2045年の人口はピーク時の半分以下と推定され、全国・全道を上回るスピードで減少が進行

北海道及び管内の人口年代比率



- 人口減少の進展とともに、少子高齢化が進み、2045年の生産年齢人口(15~64歳)は、45%程度になると推定
- 人口減少や少子高齢化の進展により、経済・くらし・行政など幅広く地域社会に影響を及ぼすことが懸念

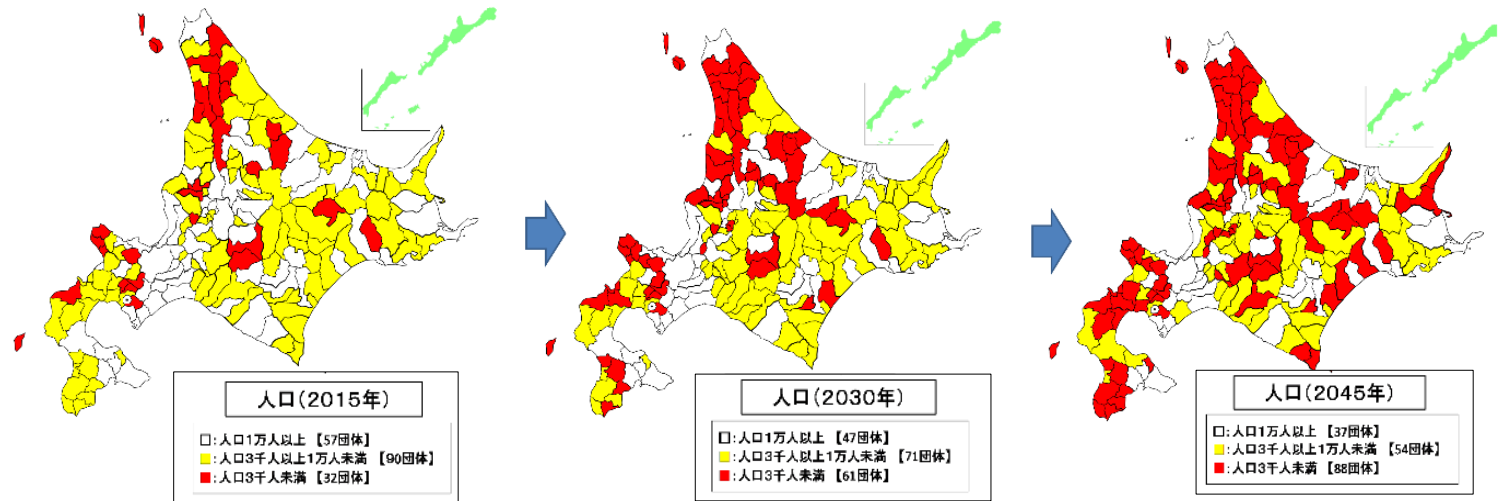
地域が抱える課題②：札幌一極集中



○各地で人口減少が進む中、道内では札幌への一極集中がより一層進行

○道央地域を除いて、各地で人口減少が進み、人口1万人以下の市町村が年々増大することが想定

【道内市町村の人口推移】

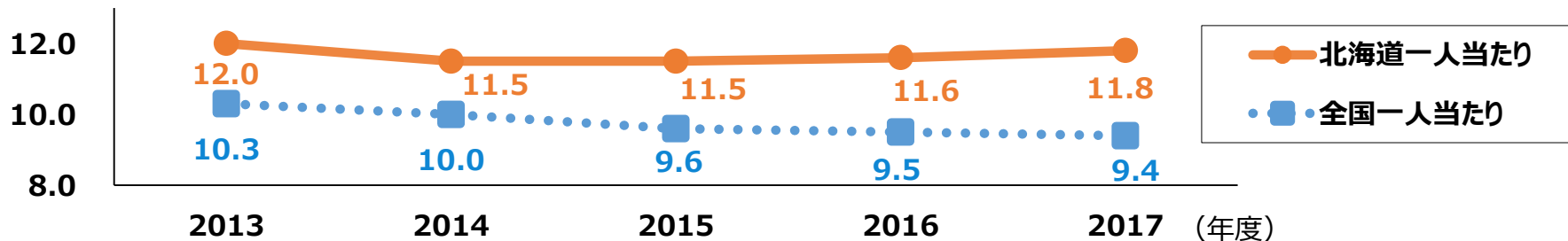


出典：北海道「北海道総合計画」【2021改訂版】

地域が抱える課題③：カーボンニュートラルへの対応

(t-CO₂/人)

1人当たりの二酸化炭素排出量の推移（北海道、全国）



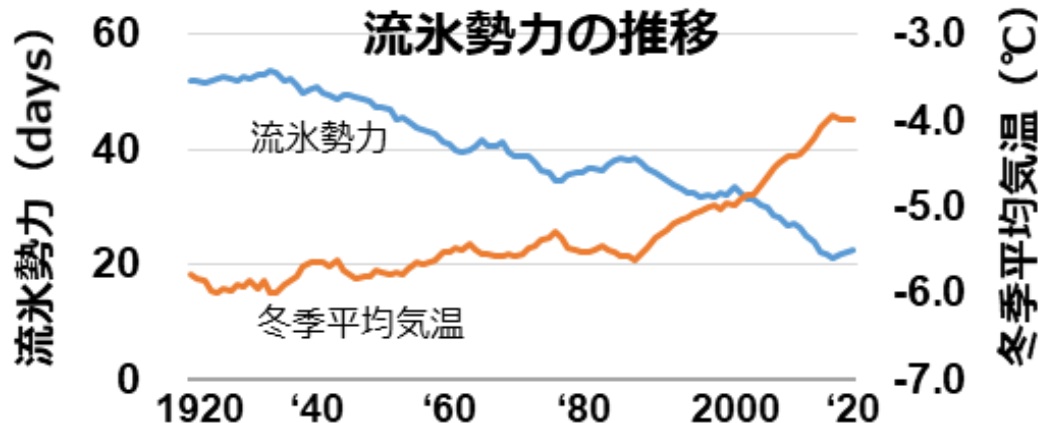
出典：北海道環境生活部「北海道地球温暖化対策推進計画」に基づく
令和元年度の施策の実施状況等について」及び環境省「2019年度（令和元年度）の温室効果ガス排出量（確定値）について」

長期目標

2050年までに道内の温室効果ガス排出量を実質ゼロとする
（『ゼロカーボン北海道』の実現）

中期目標

2013年度比で
48%（3,581万t-CO₂）削減



流氷勢力：流氷が一冬にどのくらいみられるか。
出典：網走地方气象台データを元にオホーツク総合振興局作成

- 本道のCO₂排出量は、全国平均より高い水準で推移しており『ゼロカーボン北海道』の実現に取り組んでいくことが必要
- 特に、我々が可視化できるオホーツク海の流氷は過去40年で3割も減少
- 温暖化の進行は、農林水産業の持続的な発展や知床等の観光資源の保全に大きな脅威

<めざす姿>

『輝きつづける北海道』



北海道のめざす姿

将来像	将来の設定方向（現状・課題⇒方向性）	
① 地域全体で支える「子育て環境・最適地」	出生率の低下、未婚率や初婚年齢の上昇など	▶ 子どもを生き育てる環境を整える
② 北国で心豊かに暮らせる安全・安心社会	超高齢社会、自然災害リスクの高まりなど	▶ 将来にわたる暮らしの安全・安心を確保する
③ 豊かな自然と共生する「環境先進モデル・北海道」	豊かな自然環境、多様なエネルギー資源など	▶ 生物多様性の保全と持続可能な利用を図る ▶ 多様なエネルギーの導入を拡大する
④ 世界に広がる“憧れのくに”北海道ブランド	アジアの経済成長、国内消費の低迷など	▶ 海外の経済成長を取り込む
⑤ 北海道の潜在力を活かす地域経済の循環	域際収支の赤字、地域産業の成長力強化など	▶ 資源・ひと・経済の好循環を確立する
⑥ 北の大地を力強く切り拓く豊富な人材	地域産業の担い手不足、人材の育成など	▶ 人材を育成し、技術・技能を開発・継承する
⑦ 北海道ならではの個性あふれる地域	過疎化の進行、行政サービスの確保など	▶ 持続可能な地域社会を形成する

オホーツク地域のめざす姿

<めざす姿>

豊かな地域資源を活かし、自然と共生する
快適な暮らしが広がる「オホーツク連携地域」

オホーツクの未来を切り開く5つの政策展開

① 省力的・効率的な生産体制の整備 などによる農林水産業の強化

(施策)

- 高収益で安定的な生産体制の整備
- 担い手の育成・確保
- オホーツク産木材・木製品の利用促進

生産性
の向上

② 豊富な農水産物を活かした 食関連産業の振興

(施策)

- 多様な主体の連携促進
- 付加価値の高い商品の開発や起業・創業の促進
- 良質な農水産物の販路拡大

付加価値
の向上

③ 多様な地域資源を活かした オホーツクへの来訪促進

(施策)

- オホーツクの魅力の効果的な発信
- 体験型・滞在型観光の推進
- 外国人観光客の受入体制づくりに向けた取組の推進
- スポーツ合宿などの誘致に向けた取組の強化
- 公共交通の利用促進や維持・確保に向けた取組の推進

真価の
発揮

持続可能な
地域づくり

④ オホーツク地域への人口定着の推進

(施策)

- 移住・定住の促進に向けた取組の推進
- 若年層の地元定着促進に向けた取組の推進
- 担い手の育成・確保（再掲）
- 公共交通の利用促進や維持・確保に向けた取組の推進（再掲）

変革への
挑戦

⑤ 豊かで優れた自然と共生する 脱炭素型の地域づくり

(施策)

- 豊かで優れた自然環境の保全と継承
- 地域資源を活かした「ゼロカーボン北海道」の推進

施策のポイント ～好機を捉えた担い手確保の推進～

従来型の大規模畑作・酪農だけでなく、多様な就農形態の可能性を示すことにより、新規就農者及び雇用労働者の確保を推進するとともに、コロナ禍で注目されている農業や地方への移住に向けて情報発信を進める。

主な事業

農業の担い手確保 【農村を支える多様な担い手確保推進事業】

● 関係機関との情報共有

- ✓ 多様な就農形態に係る研修会の開催
- ✓ 管内市町村・農協との意見交換

● 就農希望者確保のための啓発・広報

- ✓ 就農フェア等への出展
- ✓ 地元大学生を主な対象に就農セミナーの開催
- ✓ 退職自衛官を対象に農業分野における現場体験会を開催

● 多様な就農のための事例・実態調査

- ✓ 小規模経営など多様な就農の事例収集
- ✓ 雇用就農の実態調査



R4開催

マイナビ農林水産FEST（大阪・札幌）

（株）マイナビが主催する就農フェアに出展し、全国の就農希望者等にオホーツクでの新規就農・雇用就農等をPR

施策のポイント ～オホーツク産品のブランド化～

地域資源を活かした多様な産品を管内外に発信するとともに、商品開発等を分野横断的に推進し、食関連産業の活性化や販路の拡大を推進

主な事業

① 「食」のブランド化 【オホーツク「食」のブランド化促進事業】

● オホーツク産品のPR

- ✓ 道外飲食チェーン等と連携し、オホーツク産の食材を活かした産品の販路拡大
- ✓ 札幌駅前通地下広場にて、「オホーツクフェアinチ・カ・ホ」を2年ぶりに開催

● オホーツクブランドのPR

- ✓ オホーツク産の食材を活かした「オホ弁」の商品開発と管内外へのPR推進

● オホーツクの「食」の販路拡大を通じた環境保全活動のPR

- ✓ 北海道どさんこプラザ羽田空港店などでの販路拡大イベントの機会を活用した流水トラスト運動等のPR



R4 開催

オホーツクフェアinチ・カ・ホ
札幌駅前通地下広場で開催

R3 開催

「オホ弁」発売開始
お披露目会

令和4年4月からの
発売開始に先駆け、
報道機関等へのお披
露目会を開催



② 農畜産物の魅力発信 【オホーツクめぐりテロワール魅力発信事業】

● 農畜産物消費拡大・PR

- ✓ 管内のスイーツや乳製品をテーマとしたスイーツ&ミルクスタンプラリーの実施
- ✓ 豆類の消費拡大・PRを目的とした「ビーンズチャレンジ」の実施
- ✓ 農畜産物消費拡大・PRイベントの開催

● 付加価値向上

- ✓ 農業者を主な対象に、農業の6次産業化などをテーマとした付加価値向上研修会の開催



R4 実施

豆キユン♡プロジェクト

オホーツク産豆の利用拡大・消費拡大を目的に、オホーツク管内の飲食店、菓子店等が、オホーツク産豆類を使用したメニュー・商品を開発。3月から期間限定販売を実施。

R4 実施

オホーツクスイーツ&ミルクスタンプラリー2022

オホーツクの農業・農畜産物の認知度や付加価値向上を目的として、管内の菓子店等48店舗を巡るスタンプラリー

施策のポイント ～早期需要回復の促進～

コロナ禍で変わる旅のスタイルに対応しながら、交流関係人口の増加や観光産業の振興を図るため、市町村等との連携の下、多様で幅広い個人や団体旅行を誘致し、地域の優れた資源を活かした観光地づくりを推進

主な事業

観光促進 【オホーツク観光再生事業】

● 広域観光の推進

- ✓ オホーツクの雄大な自然の環境保全活動と観光の一体的PR
- ✓ オホーツク、十勝、釧路、根室の道東4振興局が連携した広域観光のPR

● 受入体制の整備

- ✓ 観光関係者向け観光客受入支援セミナーの開催
- ✓ 4言語に翻訳した広域観光マップの作成、配布

● 情報発信の強化

- ✓ SNSを活用した国内外への効果的な情報発信



R4 開催

オホーツクフェスタin東京都庁

東京都庁にて、流水トラスト運動と観光の一体的PRを実施

R2~4 実施

SNSを活用した情報発信

アジア圏に向けて、インフルエンサーを活用した情報発信を実施



④ オホーツク地域への人口定着の推進

施策のポイント ～移住・定住、関係人口の創出・拡大～

地域の多様な関係者との連携の下、公共交通機関など地域資源を活用した取組の展開や効果的な情報発信、管内若年層の地元愛の醸成、移住・定住の促進、関係人口の創出・拡大を推進

主な事業

① 地元定着 【オホーツク地域人材確保・定着促進事業】

● 人手不足への対応、職場定着

- ✓ 地元企業を対象とした人材確保・定着促進を図るセミナーの開催
- ✓ 高校生を対象とした就業前職業ガイダンスの開催



R4 実施

オホーツク地域人材確保・
定着促進セミナー

企業向けに北見、網走、紋別で開催

● 首都圏・関西圏からの人材の呼び込み

- ✓ 北海道U・Iターンフェアへのオホーツクブース出展

R4 実施

お仕事スタートアップガイダンス

高校生を対象に
就業前職業ガイダンスを北見で開催



④ オホーツク地域への人口定着の推進

② 地域活性化 【地域連携推進オホーツク活性化事業】

● 魅力ある地域資源の利活用促進

- ✓ 沿線住民を対象とした鉄道乗車体験ツアーの実施
- ✓ 流氷観光砕氷船「おーら」の乗船体験を通じた環境教育

● 効果的な情報発信の推進

- ✓ ご当地キャラ「オホ☆キャラ隊」による地域紹介
- ✓ 「オホーツクール」ロゴの利活用促進

● 地元愛の醸成

- ✓ 地域の仕事や魅力を発信する冊子の作成
- ✓ 地域で活躍する人材を招へいた学生向けワークショップの開催
- ✓ 管内外の学生に向けた管内企業情報の発信

● 地域の魅力を知る・学ぶ機会の創出

- ✓ 管内の官民若手人材ネットワークの構築
- ✓ ポータルサイトを活用し、地域の魅力を発信

R4 実施

流氷の日バスツアー

地域住民に向け、流氷観光砕氷船の乗船体験や、地域資源を活用した体験学習を実施



R2 作成

オホーツクールな働き方

管内で活躍する方々とその仕事を紹介する冊子



R2~4 開催

管内高校生向けワークショップ

地域人材と連携し、管内高等学校で開催

施策のポイント ～オホーツク流氷トラスト運動の加速化～

オホーツク流氷トラスト運動で掲げる「流氷を守ろう！」を合い言葉に、環境保全活動の地域への浸透に向けた取組の通年化のほか、脱プラスチック化に向けた木材・木製品の利用を促進

主な事業

① 環境保全活動

【流氷トラスト加速化プロジェクト推進事業】

● 環境保全活動の展開

- ✓ 住民等に対する身近な行動の促進
- ✓ 「流氷の日」「知床の日」と連携した“ゼロカーボンオホーツクイベント”の開催

● 環境保全を通じた魅力発信

- ✓ オホーツク流氷トラスト運動 P R 動画の制作
- ✓ 交通事業者等と連携したエコな行動の普及啓発



R4 実施

公共交通に乗って流氷を守ろう！キャンペーン

公共交通の利用など環境にやさしいエコな行動を促すキャンペーンを管内で実施

② 木製品の利用促進

【脱プラ・着モク！脱炭素化促進事業】

● 木製品の開発

- ✓ QRコード付き木製品の開発・生産

● 木製品PR動画の作成

- ✓ 消費者向けの木材利用やSDGsの解説動画作成

● 木製品のニーズ把握

- ✓ 脱プラスチックに向けた木製品のニーズ調査、民間企業による試用

R4 作成

QRコード付き
木製品

QRコードを付け
広告媒体化

